

## 【大会レポート】

# 第25回・早大OC大会 in 「赤根」

～たまには21ASクラスの話～

佐々木 順 (サン・スーシ)

一般の大会でもエリートの出場者制限が広く行われるようになり、それに伴って21Aが年齢制限を撤廃し、エリートへのチャレンジクラスという性格を帯びるようになって久しい。この影響で、非エリートの若年層(主に学生クラブOB)が気軽にオリエンテーリングを楽しむための選択肢が狭まってしまった。このために作られたクラスが21ASであり、今や多くの大会で設定される人気カテゴリである。今回は私が毎回出ているこのクラスの話をしてみたい。

ベテラン層では年齢別クラスが歓迎される。「毎回同じメンバーで争うのが楽しみ」というのがその理由だが、エリート層が抜けた21ASクラスでも、これと似たようなことになる。プログラムを見れば、10年以上前にインカレのプログラムでお目にかかったような名前が続々出てくる。自分が何年ぶりに走る身であったとしても、おもわずニヤリとしてしまうメンバーだ。



雨の中、地元の人々の露店サービスが好評

スタートで久しぶりに見る顔があった。高校時代の同級生のYである。彼は今回の2代前にあたる地図のマッパー様である。「さぞこの地形は克明に覚えていることだろう」と水を向けると、彼は「いや、昔のように動けないよ」と言った。私は彼の12分後のスタートである。ウィング40分で私が彼を見かけたら確かに大変なことなのだが・・・

結局、私はゴールまでYを見ることは無かった。それは当然だった。ゴール後に彼にタイムを聞いたら、私より6分も早かったのだから。別に彼がこの地図のマッパーだったから速かったのだとは思わない。単に私が遅かったのだ。M21AS全体の順位を見ても半分より上に入

ったんだろうか。  
うーん、これでは困るな、はっはっは。

距離が短いだけに最後まで一応(本当に一応)コンペティティブに走れて、細かいミスを悔やみ、たまにうまく走れたときは喜ぶという、そういうささやかな楽



左から鹿島田浩二(コントローラ)、寺垣内航(競技委員長)、纒坂尚(実行委員長)の各氏

しみを気軽に提供してくれるこのクラスは、筋金入りのオリエンティアには邪道呼ばわりされるかもしれないが、結構好きだったりするのだ。

(アップがある割にはそれを感じさせないコース設定だったと感じます。ありがとうございました>運営者の方々)

M21AS 3500m/240m

- 1 小林達郎 39'55" IWA&TANI
- 2 山内亮太 40'25" 横浜 OL クラブ
- 3 樋口佳和 42'49" 東京農大 OLG

W21AS 2100m/150m

- 1 二俣みな子 47'57" つくば COCCO
- 2 天野理香 49'44" 早大 OC 寿会
- 3 金原和泉 50'48" 東京 OL クラブ